

6京医大第737号  
令和6年9月30日

関係大学長様  
関係教育研究機関等の長様

京都府立医科大学長  
夜久均  
(公印省略)

広域実践保健看護学(母性看護学・助産学領域)教授候補者の推薦について(依頼)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本学大学院保健看護学研究科博士後期課程広域実践保健看護学、前期課程母性看護学・助産学、医学部看護学科母性看護学・助産学領域教授を下記の要領で公募、選考することとなりました。

この度公募する教授候補者には、女性のライフステージ各期の健康課題に応じたウイメンズヘルスケア、リプロダクティブヘルス/ライツ、これからの地域母子保健に貢献する母性看護学・助産学の領域に深い造詣を持ち、学問の発展に寄与する質の高い教育・研究実績を有する方を求めます。

保健看護学研究科ならびに看護学科において、広域実践保健看護学、母性看護学・助産学の講義・演習・実習を担当し、次世代を担う倫理観と論理性、専門的自律能力を備えた人材育成に従事していただきます。

なお、現在本学は、大学院改革や国際化など我が国が直面する課題ならびに助産師教育の大学院教育への移行の検討に取り組んでいることを申し添えます。

つきましては、ご多用中恐縮に存じますが、貴施設におきまして適任者がおられましたら、下記により令和6年11月7日(木曜日・17時必着)までにご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

## 1 募集内容

募集分野	職位	人数	資格・免許	採用予定時期
広域実践保健看護学 母性看護学・助産学	教授	1名	博士・看護師・助産師	令和7年4月1日

## 2 応募資格

- 大学設置基準(昭和31年10月22日 文部省令第28号、令和4年文部科学省令第34号による改正 令和4年10月1日施行)第4章に規定されている「教員の資格」を満たし、大学院の教員として適格資格を受けている方、または研究上の業績が上記に準ずると認められる方
- 1の募集内容の表の「資格・免許」欄に記載されている資格・免許を有し、臨床及び教育の経験を有すること
- 学校教育法第9条に規定する欠格条項に該当しないこと

### 3 提出書類

- |   |                    |
|---|--------------------|
| (1) 履歴書   | 1部(別紙様式1)          |
| (2) 業績目録  | 1部(別紙様式2)          |
| (3) 論文別刷(業績目録に記載された代表的な論文15編程度。コピー可)                | 各1部(後日返却)          |
| (4) 「教育と研究における過去の経歴及び将来の抱負」                         | 2000字程度(A4サイズ様式任意) |
| (5) 推薦書(所属長など1名)                                    | 1部(A4サイズ様式任意)      |
| (6) (1)、(2)、及び(4)については、下記規定に従って記録したUSBメモリも添付してください。 |                    |

※ (1)履歴書及び(2)業績目録の様式は、本学ホームページでご確認ください。

[https://www.kpu-m.ac.jp/doc/news/2024/0930\\_josan.html](https://www.kpu-m.ac.jp/doc/news/2024/0930_josan.html)

#### [規定]

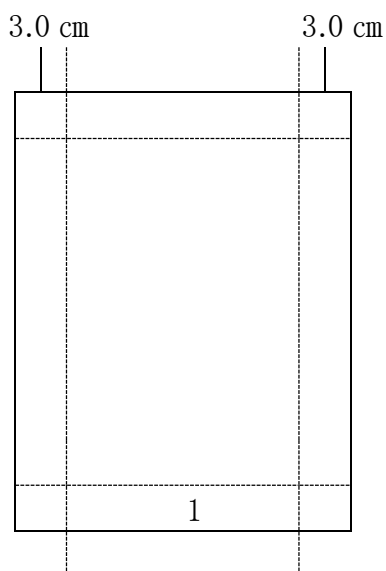
紙サイズ A4 サイズ

ソフトは Microsoft Word (Windows, Macintosh 共に可)

文字のフォントは明朝体、12ポイント、数字及び英語は半角

行間はシングルスペース、1行あたり文字数35字、33行

上下左右の余白は3.0cmとし、各書類に頁番号をつけること(下部中央印字)



なお、ご提出していただいた書類等の個人情報につきましては、本学大学院保健看護学研究科教授選考の目的以外には使用しません。が、本学内の教授会等で公開されることをご承知おき下さい。

※応募者の連絡先(電話とEメールアドレス)を履歴書とは別にご提出下さい。

※封筒に「保健看護学研究科(母性看護学・助産学領域)教授応募書類在中」と朱書きして書留でご送付ください。

(その他) 選考の過程で面接及びセミナーにお越しいただくことがあります。

#### 【問い合わせ先・書類提出先】

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465

京都府立医科大学事務局教育支援課入試係

電話 075-251-5167

e-mail: nur@koto.kpu-m.ac.jp

別紙様式 1

履 歴 書

(ふりがな) ○ ○ ○ ○

昭和（または西暦）○年○月○日生（○歳）

現住所 ○○県△△市

- 平成○○年(19xx年) 3月31日 ○○看護大学看護学部看護学科卒業
- 平成○○年(19xx年) 5月16日 ○○医科大学附属病院技師
- 平成○○年(19xx年) 5月20日 看護師免許証取得（第○○○○号登録）
- 平成○○年(19xx年) 11月14日 厚生労働省○○○養成講習会修了（○ヶ月）
- 平成○○年(19xx年) 4月10日 厚生労働省看護研修研究センター看護教員養成課程入学
- 平成○○年(19xx年) 3月10日 厚生労働省看護研修研究センター看護教員養成課程修了
- 平成○○年(19xx年) 4月1日 ○○医科大学附属看護専門学校教員
- 平成○○年(19xx年) 4月1日 ○○医科大学医療技術短期大学部講師
- 平成○○年(19xx年) 4月1日 ○○大学大学院看護学研究科修士課程入学
- 平成○○年(19xx年) 3月10日 ○○大学大学院看護学研究科修士課程修了
- 平成○○年(19xx年) 4月1日 ○○大学大学院看護学研究科博士課程入学
- 平成○○年(19xx年) 3月15日 ○○大学大学院看護学研究科博士課程修了  
現在に至る
- 平成○○年(19xx年)4月1日 ～ 平成○○年 3月31日 ○○大学非常勤講師
- 平成○○年(19xx年)4月1日 ～ 平成○○年 3月31日 ○○大学客員講師

所属学会等

日本〇〇学会会員

日本〇〇学会会員

学会役員等

日本〇〇学会理事

日本〇〇学会評議員

認定資格等

〇〇看護認定看護師

〇〇看護専門看護師

学術活動・社会貢献等

〇〇誌の編集委員

知的財産（これまでに出版した特許等）目録

1. 発明等の名称；新規な xxxxx ・およびその用途

出願番号：特願 20xx-xxxxxxx ；平成〇〇年〇月

発明者：〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

2. 発明等の名称：〇〇病発症またはリスクの〇〇的検出方法

出願番号：特願 20xx-xxxxxxx ・PCT/JPxx/xxxxx ；平成〇〇年〇月

発明者：〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

大学など機関内の委員会、小委員会、審査会等への貢献実績

1. 〇〇大学医学倫理審査委員会ゲノム小委員会委員 平成〇～〇年度

2. 〇〇大学医学部放射線障害予防委員会委員 平成〇～〇年度

賞罰

平成〇〇年 日本〇〇学会奨励賞

研究助成（これまでに受けた文部科学省科学研究費，厚生労働省科学研究費，  
日本医療研究開発機構 (AMED) などの助成金額等について直接・間接  
経費の総額を記入してください)

#### 公的助成

##### 代表

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (A) 平成〇～〇年度  
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇千円
- 2 厚生労働省科学研究費補助金〇〇〇〇〇事業 平成〇～〇年度  
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇千円
- 3 日本医療研究開発機構 (AMED) 〇〇〇〇〇事業 令和〇～〇年度  
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇千円

##### 分担

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (A) 平成〇～〇年度  
〇〇〇〇〇〇〇の研究 (代表者 〇〇) 助成金額 〇〇千円
- 2 厚生労働省科学研究費補助金〇〇〇〇〇事業 平成〇～〇年度  
〇〇〇〇〇〇〇の研究 (代表者 〇〇) 助成金額 〇〇千円
- 3 日本医療研究開発機構 (AMED) 〇〇〇〇〇事業 令和〇～〇年度  
〇〇〇〇〇〇〇の研究 (代表者 〇〇) 助成金額 〇〇千円

※ 分担研究につきましては、本人への助成金額を記入してください。

#### 財団等からの助成

##### 代表

- 1 〇〇〇〇財団〇〇〇〇助成 平成〇～〇年度  
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇千円
- 2 〇〇〇〇財団〇〇〇〇助成 令和〇～〇年度  
〇〇〇〇〇〇〇の研究 助成金額 〇〇千円

##### 分担

- 1 〇〇〇〇財団〇〇〇〇助成 平成〇～〇年度  
〇〇〇〇〇〇〇の研究 (代表者 〇〇) 助成金額 〇〇千円

2 ○○○○財団○○○○助成 令和○～○年度  
○○○○○○○○の研究 (代表者 ○○) 助成金額 ○○千円  
※ 分担研究につきましては、本人への助成金額を記入してください。

業 績 目 録

いだい たろう  
医大 太郎

(A-a) 英文著書

\*個人著書の場合

- 1 Idai T. Means to and end: apoptosis and other cell death mechanisms. ○○○○○ (注 出版社名), New York (注 出版社の所在都市名) : pp1-220, 2011.

\*分担執筆の場合

- 2 Kyoto H, Idai T. Cancer chemotherapy, immunotherapy & biotherapy, 6th ed. In: Idai J, Kyoto A, editors. ○○○○○ (注 出版社名), Philadelphia (注 出版社の所在都市名) : pp457-466, 2019.

(A-b) 和文著書

\*個人著書の場合

- 1 医大太郎. なぜベイズを使わないのか!? ○○堂, 京都: pp1-262, 2017.

\*分担執筆の場合

- 2 京都花子, 医大太郎. 次世代シーケンサーによる造血器腫瘍解析. 造血器腫瘍アトラス改訂第 5 版. 医大二郎 編. 日本○○社, 東京: pp95-102, 2016.

(B-a) 英文総説

- 1 Idai T., Kyoto M. Genomic imprinting disorders: lessons on how genome, epigenome and environment interact. Nat Rev Genet (注 PubMed の略名法による) 20: 235-248, 2019. (IF=41.464)

(B-b) 和文総説

- 1 医大太郎. ゲノム医療時代の病理医の役割. ○○医学 26:39-45, 2019.

(C-a) 英文原著

- 1 Idai T, Kamigyo J, Kyoto H, Kawaramachi A, Kamogawa R, Shimogamo H. Glycolytic switch is required for transdifferentiation to endothelial lineage. *Circulation* 139: 243-255, 2019. (IF=18.88)

(C-b) 和文原著

- 1 医大太郎, 京都花子, 上京二郎. 水球選手のメンタルタフネスを評価する有効な質問項目の検討. *〇〇医* (注 医学中央雑誌の略名法による) 174 : 227-235, 2017.

(D) 学会発表

学会発表は、国内外の学会における特別講演・教育講演等、シンポジウム・ワークショップ・パネルディスカッション等の発表、及び一般講演は国際学会と国内学会に分けて記載してください。

記載の方法は前記に準じ、題名、発表学会名、開催地を発表年の順に記載してください。

I) 特別講演、教育講演等

- 1 Idai T. Customized induced pluripotent stem cell-derived red cell reagents. Plenary lecture. 59th Annual Meeting of Am Soc of Hematol. 2017 Dec 7; 〇〇〇〇〇, USA (注 会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略) .
- 2 医大太郎, 医大二郎, 京都花子. 教育講演. 世界に羽ばたく〇〇の育て方. 第77回日本〇〇学会, 2018, 福島.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 Idai T. Estimation of strength during fracture healing based on acoustic emission properties. Symposium; Bone trauma and fracture repair. 2nd World Congress of Biomechanics. 2005 Jul 14; 〇〇〇〇〇〇, Netherlands (注 会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略).

III) 国際学会における一般講演

- 1 Idai T. Prognostic impact of past history of other malignancies



in prostate cancer. International Prostate Cancer Symposium. 2015  
Oct 29-31; ○○○○○, USA (注 会議の開催都市名、国名、ただし  
国内の場合国名は省略) .

IV) 国内学会における一般講演

- 1 医大太郎, 医大二郎, 京都花子. ○○について. 第77回日本○○学会,  
2018, 福島.

## 履歴書・業績目録記入上の注意について

業績目録は、別紙様式2のとおり (A-a) 英文著書、(A-b) 和文著書、(B-a) 英文総説、(B-b) 和文総説、(C-a) 英文原著、(C-b) 和文原著及び、(D) 学会発表に分類し、それぞれ最近のものから年順に列挙し別葉としてください。

- (1) 履歴書の年号は元号と西暦を併記してください。
- (2) 代表的な論文15編の番号の前には○印を付けてください。  
なお、代表的な論文15編については、それぞれ簡潔に要旨、意義および被引用回数(Scopus)を記したもの(200字程度)を別に添付して下さい。
- (3) 共著、共同発表の場合は、本人の氏名を含め全員の氏名を原典に記載された順に記し、本人氏名にアンダーラインを引いてください。筆頭者とほぼ同等に貢献したことが記載されている論文においては、本人氏名の右肩に#印を、corresponding authorの場合は本人氏名の右肩に\*印を付記してください。なお、筆頭者とほぼ同等に貢献した論文あるいはcorresponding authorである論文においては、これらのことが記載されているページのコピーも提出して下さい(代表論文として提出する論文におきましては、重複して提出して頂く必要はありません)。  
例1) 医大太郎, 医大花子, 医大二郎. 論文名. 雑誌名  
1X: 99X-10XX, 20XX.  
例2) 医大花子, 医大太郎<sup>#</sup>, 医大二郎. 論文名. 雑誌名  
1X: 99X-10XX, 20XX.  
例3) 医大二郎, 医大太郎<sup>\*</sup>, 医大花子. 論文名. 雑誌名  
1X: 99X-10XX, 20XX.
- (4) 英文総説と英文原著論文については、各論文ごとに Impact Factor(ク  
ラリベイト・アナリティクス社 Journal Citation Reports(JCR)2024年  
版)を記載してください。
- (5) 雑誌名が変更となっている場合はその記載の末尾に詳細を明記して  
ください。
- (6) 掲載予定のものについては、それを証明する書類を添付してください。
- (7) 氏名を英語で表記する場合は、下記例のように統一して記載してくだ  
さい。(例) 医大太郎→「Idai T」
- (8) 学位申請論文については、題名の後に(学位論文)と記載してください。